

令和2年度第1回八千代市スポーツ推進審議会 会議録

1. 開催日時 令和2年6月30日(火)
10時00分開会 11時30分開会
2. 場所 八千代市教育委員会庁舎 2階大会議室
3. 出席者 ◇八千代市スポーツ推進審議会委員(計7人)
豊田 正昭 会長 石上 明美 委員 寺田 好江 委員
萩島 賢 委員 米野 浩子 委員 鎌谷 理恵 委員
岡本 憲始 委員 (欠席2人)

◇事務局(計7人)
教育長 小林 伸夫
教育次長 大澤 利和
文化・スポーツ課 課長 春田 泰宏 副主幹 内海 広澄(進行)
主査補 石川 幸彦 主任主事 宍倉 雄一
主事 今城 吉暁
4. 公開・非公開 公開
5. 傍聴人 1人(定員5人)
6. 会議要旨
 - (1) 開会
 - (2) 教育長挨拶
 - (3) 委員及び事務局紹介
 - (4) 討議

議長

本日の出席委員は7名であり、委員の半数に達しておりますので、八千代市スポーツ推進審議会条例第5条第2項の規定により、本日の会議は成立しておりますことをご報告いたします。

なお、本審議会は、「八千代市審議会等の公開に関する要領」に基づき、公開の会議となっております。また、会議録作成のため、会議の状況を録音させていただきます。

それでは、4の議題に入りたいと思います。

議題(1)「次期八千代市スポーツ推進計画策定に係る市民アンケートの実施結果」となります。

この議題につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

事務局

議題1「次期八千代市スポーツ推進計画策定に係る市民アンケートの実施結果」について説明いたします。

令和2年2月4日に、全人口を7つのコミュニティ地域で分けた人口割合を使って、住民基本台帳から抽出した18歳以上の市民3,500名にアンケートを送りましたところ、1,213名からの返信があり、1名白紙の回答がありましたので、1,212名で集計を行いました。回収率は34.6%で、平成24年度に実施した前回調査が38.4%でしたので、比較すると3.8ポイントの減少となりました。

それでは具体的な説明に移ります。まず資料の4頁上段をご覧ください。「問5あなたはスポーツをどの程度行っていますか。」では、「ほとんど（またはまったく）やらない人」が半数を占めており、次いで週に1～2回程度行う、月に1～3回程度行う、の順となっております。スポーツ庁がスポーツ基本計画のなかで、目標値として挙げている週1回以上のスポーツ実施率について、本市の今回の調査では、36.6%となっております。スポーツ庁が昨年実施した世論調査（スポーツの実施状況等に関する世論調査）では、53.6%という結果が出ております。そして、千葉県が、4年前に実施したアンケート調査（県民の運動・スポーツに関するアンケート調査）の結果では、46.5%と、八千代市の実施率が全国・千葉県よりも低い状況となっております、今後、週1回以上のスポーツ実施率の向上が課題として挙げられます。

先程「問5あなたはスポーツをどの程度行っていますか。」では、「ほとんど（またはまったく）やらない人」が半数を占めているとご説明しましたが、その理由として、9頁の「問13スポーツをほとんど（または全く）やらない理由を教えてください。」では、「忙しくて時間がとれないから」が最も多く、これは、前回調査と同様の結果となっております。

しかしながら、「スポーツをほとんど（またはまったく）やらない」と回答した人でも、10頁をご覧くださいと「問14今後スポーツを行いたいと思いませんか。」では、「条件が合えば行いたい」と「今後行う」という回答を合わせると7割の方がスポーツに関心を持っていることから、忙しくて時間が取れない方にも気軽にできる、スポーツ活動の体制づくりや環境づくりが今後の課題の一つとなります。

続いて4頁に戻りますが、「問6あなたがスポーツをする理由を教えてください。」では、「健康の維持や体力づくりのため」が最も多く、次いで「運動不足解消のため」「気晴らしやストレス発散のため」となっており、前回調査とほぼ同様の結果であります。前回調査と比較し、健康維持や体力づくりの割合が増加しているため、市民の健康志向がさらに高まっていると考えられます。

また、7頁の「問10あなたが行っているスポーツ種目を教えてください。」では、「ウォーキング」が最も多く、次いで「筋力トレーニング」「ランニング」となっており、こちらも前回調査結果とほぼ同様の結果であるとともに、12頁の「問17八千代市にどのようなスポーツ施設があったらいいと思いませんか。」では、ウォーキングコースやジョギングコースを整備してほしいという意見が2番目に多い結果となっておりますので、この結果が多くの市民ニーズであると捉え、今後のスポーツ施策には、このような意見を反映できるよう関係各課、各種スポーツ団体と調整していきたいと考えております。

最後に、25頁をご覧くださいと「問35八千代市のスポーツ推進にどのような要望がありますか。」の質問においては、同じような意見をまとめ、抜粋したものが皆さんの資料となっておりますが、野球場やテニスコート、市民プールなどの施設の整備や施設の駐車場のこと、予約が取りづらいなどの利用方法のこと、教室・イベント開催のことや高齢者向けのス

スポーツ推進に関することなど様々なご意見をいただきましたので、この課題を少しでも改善できるよう、今後のスポーツ推進施策を行っていきたいと考えております。

以上で市民アンケートの実施結果についての説明を終わります。

議 長

それでは、市民アンケートを行った結果として、ご質問やご意見がございましたらどうぞ。

岡本委員

事前に資料を郵送していただいたので、会議を円滑に進めるために事前にご質問させていただいたという経緯もあって、ただご質問の補足が無かったんですけど、それをちょっと共有させていただきたいと思ったのと、あと、この課題の中で、今、スポーツに関しては、まず自分たちが体を動かそうというスタイルで説明いただいているんですが、一方で「見る」という観点でも、色々な情報のことをお伝えになっているので、その辺の部分について質問したいと思います。

まず、アンケートについては総括、いわゆる検討結果のようなものは色々なところに共有されないとアンケートは生きてこないんで、せっかくこれだけ時間をかけたのなら、総括をしていただきたいということをお話ししました。それについてはホームページ等で掲載をしていくとのことでしたので、非常にいいことだと思っています。

それと、前回の審議会での私からの質問で、アンケートの回答の、その他というところをたくさん出さなきゃいけないということがあって、影響のない8%以下、いわゆる20分の1程度以下のものはそれほど影響がないんですけど、8パーセント以上のものについて出していただいたんですけど、あまりにも項目が多くて、これについては、分析には影響は無いと思うんですが、もしかしたら委員の方々に共有したり見ていただくと、「その他が24%もあるんだけど」となった時に、その他がこれだけあるんだけど、知らないんだというところを理解していただいた方が、作り手側と受け手側と市民の方にクリアだなと思います。

そして、どのような方法で情報発信しているかということなんですけれど、「ホームページです」「SNSです」という回答をいただきました。

私の提案はホームページなんですけれど、八千代市の場合、他市と比べて、スポーツは1階層で終わっているんですね。情報版で流すのにこれをやりましたというだけの1ページだと駄目なので、2階層以上やって欲しいというのが具体的な意見です。

他市でもやっているんで、これは是非やっていただきたい。

それから、これから健康を高めましょうというところで、目標などを出されると、明確に次のステップが踏めるのではないかなと思います。

八千代市と同じような都市計画レベルのところや、これからスポーツの水準を上げようとするところについては、他市のやり方を参考にしながら。

これはチャンスだと思います。

こういうところをやっていただいた方がいいのではないかなと思っておりますし、それはやるべきだと思います。

議 長

「その他」というところの中身が何なのかということなんですけど、多岐に渡るということで、ご理解いただきたいと思います。

事務局

先ほど岡本委員から、ホームページについてご意見をいただきました。

今後、他市の状況等を参考に、私どものホームページも改善できるように努めたいと思います。

議長

ちなみにホームページは、体育協会でもホームページを開設していますし、文化・スポーツ振興財団、或いは総合グラウンド単体でも、ホームページを開設しておりますので、その辺りの広報に努めれば、もう少し補完できるのかなと思います。

また、アンケートによりますと、スポーツを週1回以上行っている市民は、全国レベルや県レベルでいくとかなり少ない。これを何とかしなければいけないということなんです。理由としては、「スポーツをする時間がない、確保できない」ということが一番大きな理由となっています。

ただその他に、機会があれば始めてみたいということです。この機会というのが、市のスポーツ振興のための施策になっていくのかなと思います。

実は色々な機会はあるんですけど意外と知られていない。ホームページとか、市民に広報されてないということが、多々あるような感じなんです。

スポーツ推進委員の活動はあまり認知されてないですね。

その辺を市民の皆さんにお知らせする、或いはイベント等の情報が、もっと浸透していけば、また違うのかなと思います。

それから、身近なところでスポーツができる環境という意味では、今ウォーキングができるのは新川沿いくらいで、あとは街中を、車を気にしながら歩いてる方がたくさんいるんですけども。このウォーキングを安心してできる場所というのは、そう一概に市街地の中に作るのもなかなか難しいのかなと。

ただ、休業期間中の新川沿いは、あそこそそ3密で、ウォーキングをしている人はたくさんいて、平日でもかなりの人が出ていました。

そういう意味では歩くということは大事なんですけど、それを市で整備することも難しいのかなと思います。

岡本委員

ウォーキングについてですが、私自身が自治会長をやっていたり、交通のことや観光についてもやらせていただいたことがあったので、八千代市の現状を言いますと、北部と南部では状況が違ってまして、北部に関しては、神崎川周辺は非常に緑が多く、印西市の方からのウォーキングコースのようなものができております。

私もコロナ後にウォーキングする時間が増えたので、非常に多く歩いているんですが、草も刈り込みされていて、車も通らないので、すごくいいコースとなっています。

これは一旦観光の方で取り上げようとしたんですけど、名所、旧跡があるわけではないので…。ですが北部地区に関しては、小さい公園もあって、十分に魅力のあるところがあると認識いただけるのではないかなと思います。

ですから、北部地区に関して、このようなコースがありますよ、ということをホームページなどで紹介するといいいのでは。

非常に多くの方がウォーキングをし、車が入ってこないから安全です。川沿いですし

サイクリングロード化していないのでウォーキングとかランニングする方にはすごくいいと思います。

片道だいたい5キロ以上のコースです。ただし、橋を超えてしまうと、白井市と印西市になってしまうので、どう推奨するかという問題はありますが。

八千代市というのは、北部と南部がはっきり分かれています、八千代市の中ですべて完結できるというすばらしい都市です。そういった形で、新川沿いも土曜日になるとかなり混雑をするんですけど、分散型のご紹介という形でご案内をすればいいのでは。

議 長

北部の方は本当にのどかで、田園風景で非常にいい環境なんですけれども、八千代市は人口密集地が南部の方に偏っておりまして、しかも東京で働いていらっしゃる方がたくさんいらっしゃいますので、時間もなかなか無く、結局北部の方に車で行って、どこかに車を停めて、歩き回るという環境になっていると思うんですね。

岡本委員

八千代市は他市に比べるとアップダウンが少ないので、自転車でお越しになっていたり、撮影をされる方が多く、撮影をしながら散策をされる方が多いので、確かに車じゃないと駄目という方もいらっしゃるかもしれないですけど。

ただ、他市に比べれば、多少ハードルが低いかかと。アップダウンが少ないということは非常に大きいです。

議 長

そういった情報をSNSやホームページを使ってどんどん発信することは非常に有効かなと感じます。

その点も次期スポーツ推進計画の中に盛り込んでいければと思います。

萩島委員

私はこのスポーツ推進審議会委員やスポーツ推進委員の他にも、健康まちづくりプランというプランの推進委員もやっているんですけども、そこでも運動を全くやらない方にどう運動をさせていくかという議題に現在取り組んでいるんですが、ほとんど策が出てこない状況です。その中でもどのように我々の方で考えているかということで、今の取り組みを少しご紹介させていただくと、例えば市役所に、何階以上は階段で上がりましょう、何階以上は階段で降りましょうというポスターを貼らせていただいて啓発活動に協力していただいているということも聞いておりますし、市内の企業にご協力をいただいて、ある一定階数以上は、階段で上がる、階段で下がるという取り組みにご協力をいただくことはしております。

それでも1日に必要な運動量を確保できるかという、そういうことにはならないので、今後は観光やスポーツを複合的に考えていかなければ、そういった数字を劇的に改善していくことはできないと思っております。

コロナ禍で皆さんの価値観が色々と変わってきている中で、私達家族で八千代の八福神巡りを全部徒歩で廻りました。行程で55kmぐらいになるんですけども、家族4人で小さい子どもを連れて6日か7日間ぐらいかけて。1日8kmぐらい歩いて、コロナが早く収まってねと皆で手を合わせて全部廻ったんですけども、その中で色々な市の発見もあって。

そういった活動が結果的に運動になる。そのように複合的なアイデアを練っていかないと。

例えば、文化・スポーツ課だけで何かを考えるのではなくて、観光推進担当課とも連携した上で複合的にアイデアを出して行って、それが結果的に運動になるという施策を考えていかなければ、なかなか皆さんが運動するきっかけにはならないのかなと感じました。

そういった今後のあり方についても、次期スポーツ推進計画に盛り込んでいく必要があるのかなと感じました。

米野委員

私はメディカルフィットネスという60代以上の方が来るフィットネスクラブで働いております。

今回のアンケート調査が2月実施ということですが、その後のコロナの関係で休会や退会する方がとても多いです。

コロナは重症化しやすいし、泣く泣く退会するという方もとても多いのですが、そういう方達は毎日歩くことは苦になっていないので、八福神巡りとか、そのような情報を提供してあげた方がいいと思います。

ただ、その年代の方はあまりSNSを使わないので、地域新聞のような紙面上で発信することもとても有効だと思うので、そのあたりも考慮して発信していただくと良いのかなと思います。

議長

スポーツというジャンルで括ると、色々な担当部署が関わってきます。文化・スポーツ課だけではなく健康づくり課でも色々なことをやっていますし、他課との連携の中で、スポーツや運動という括りをすれば、色々な情報発信ができるのかなと。

それらを広報などで定期的に情報発信していくことも大事なことになるのかなと思います。

寺田委員

今回のアンケートは18歳以上ということだったんですけども、小中学校体育連盟という立場と、小学生を見ている立場で言いますと、今の八千代市の小中学生の体力的な数値は、若干落ちている部分もあるんですが、それでもある程度、全国、県平均レベルよりも、いい部分がたくさんあります。

それから、優秀選手となる子ども達の人数も百名を超えています。これも、とても頑張っている学校で色々とり組んだり、習い事で色々目指す姿を持ってやっている子ども達が多い印だと思います。

ただ、問題はこれが生涯スポーツにどう繋がっていくかっていうことで、今この立場でお話すると、細く長くスポーツが続けられるよう、子ども達を育てていかなければいけないのではないかなと思っています。

私は別の学校にいた時にオリンピック・パラリンピック推進校ということで、国から補助金をいただいて、秀明大学の水球のプールに子ども達を連れて行ったりしました。小学生に担う役割というのは、色々なスポーツがあるんだということを広く浅く伝え、興味を示してもらって、これなら自分でもできるかもしれないというような、素地が大切な

と思っています。

学校として取り組めることは、それを大人になっても取り組める子ども達にしていかなければいけないと思っているんですが、立場違って、この大人になった私として、今のお話を聞いていると、私達教員も正直言うと忙しくてスポーツがなかなかできないという部類に入ると思います。それでも若い人達は野球のチームに入っていたり、私も以前はママさんバスケのチームに入っていたんですけども。

先ほどありましたけれども、階段の昇り降りとか、歩くこととか、そういうものもスポーツなんだという概念をたくさんの方に植え付けてもらえると、一歩でも多く歩いたり、今日はこれだけ歩いたんだということが、うまく反映されて良いのかなと思いました。

それと、今回のアンケートの中の「あなたが行ってるスポーツの種目」の中で、目についたのが自転車なんですね。

40代50代60代70代、この方達が自転車に乗ってヘルメットをかぶって、サーッと自転車に出掛けていくんですね。

そうなった時に外部的な要素、もしも自転車専用通行帯のようなものができれば、新川沿いがサイクリングの方とウォーキングの方がバッティングしないようになってくるのかなと思います。

30代から70代までの方がやっているスポーツにも、新しく目を向けていくのも必要なのかなと思いました。

議長

新川は自転車が多いですね。

特に連休中は、歩いている人がたくさんいるなか、自転車が縫って走っています。

自転車専用道路やサイクリングコースを確保するのは難しいと思いますけれども、そのあたりが工夫されるといいのかなというご意見ですね。

事務局

ウォーキングに関しては、アンケートでも上位に入っておりますので、必要性については今回のアンケートで十分認識できたところでございます。

各委員からのご意見につきましては、文化・スポーツ課単独でできることは限られておりますが、次期スポーツ推進計画案でも「関係各所との連携」ということを入れてありますので、市役所内外の関係各所と検討する機会を作っていきたいと考えております。

議長

この後、次期スポーツ推進計画を策定する過程では、庁内の色々な意見、或いは市民の意見などを伺って、最終的に一つの計画をつくり上げるようですね。

今日、皆さんからご意見が出ておりますが、皆さんのご意見がそのまま次期スポーツ推進計画に反映されるかどうか、必ずしもそうでないかもしれないということをご承知いただきたいと思います。

岡本委員

先ほど、コロナの話をしたんですけど、コロナ後ということを考えると、私達はさらにハードルが高くなっていて。私もスポーツの指導者をしているんですけど、団のスポーツがしにくくなっているんですね。

団のスポーツが増えにくくなっている、しにくくなっているということは、今すぐ、サ

イクリングとかウォーキングに手をつけないと、いわゆる負荷を背負ってしまう。今のところから更に負荷を背負ってしまう可能性があると思うんです。

団のスポーツをすることはできますけれど、恐らくコロナ後は、新規に始めるのは難しいというご意見もいただいておりますので、その面も含めても、もうプラスアルファでやっていかないと。

もうコロナ後だということと言うと、団のスポーツは増えないという前提を付記いただけると、発言の真実味が増すのではないかなと思います。

石上委員

先ほどの新川のところなんですけども、歩き方のルールのようなものを決めていただけるといいなと思っております。

例えばウォーキングの方と、ジョギングの方、それからサイクリングの方とすれ違いの時に、どちらかが譲るとか、そういう簡単なルールを決めていただくだけでも、今の現状でも通行ができるのではないかなと思います。

また、新川沿いには河津桜があってとてもいい場所なので、市民体育館のところに車を停めて道の駅の方まで歩かれる方もいるし、道の駅に車を停めて印西方向の方に歩いて行かれる方もいるので、神崎橋の方も紹介するような形にさせていただくと、その2パターンで少し分散するので、もっともっと利用していただけるということを周知していただけると良いかなと思いました。

あとはスポーツ推進委員の方の大会があまり周知されていないという現状がありまして、主催大会であるソフトバレーボール大会というのをやっているんですけども、なかなか八千代市の新しいチームができなくて、今PTAや家庭婦人のバレーボール大会をやっているんですけども、なかなかバレーボールの硬いボールを、何もやってない方が触るといのはすごくハードルが高いことなので、そういうのをソフトバレーに転換していけば、男女混合もあるので、お父様や女性の方の参加の機会が増えるのかなと思いました。

それから、体育館のトイレのことなんですけれども、体育館のトイレに入るときにシューズを履き替える形になっているんですが、しっかりシューズを履いてしまうと、履き替えるという作業をする方がすごく少ないんですね。

それで、他市で見たんですけれども、シューズのまま履けるスリッパがあるので、それを使えばそのまま出入りできて競技に戻れるという利点があるので、コロナ対策としてぜひ採用していただけるとありがたいと感じました。

事務局

新川の遊歩道の関係になりますと、文化・スポーツ課の管轄から離れてしまいますので、関係各所と検討したいと思います。また、シューズの件ですけども、体育館の指定管理者と考えていきたいと思います。

それから、スポーツ推進委員の認知度についての件につきましては、今回のアンケートで明らかになりましたので、今後は当市のホームページを改善するなどして向上を図りたいと思います。

議長

それでは、議題2「次期八千代市スポーツ推進計画について」事務局から説明をお願い

します。

事務局

議題2「次期八千代市スポーツ推進計画策定について」につきまして説明いたします。

現在、現行の推進計画が今年度をもって終了となることに伴い、次期スポーツ推進計画の策定を進めております。

令和2年2月には、先ほども説明がありましたが、計画策定の基礎資料にするため、市民アンケートを実施いたしました。

この度、アンケートの結果などを踏まえて、次期スポーツ推進計画の素案を作成し、先日皆様のお手元に送付させていただいたところです。

時間の関係もありますので、各項目の詳細についての説明は省かせていただきますが、次期計画の策定に当たりましては、現行の計画をベースにして、現在のスポーツや本市の状況などを踏まえて、見直しや修正を加えた形となっております。また、次期推進計画は、現行の計画で内容が重複する部分を整理するなど、スリム化して分かりやすくすることに重点を置いて作成しております。

お手元の「次期八千代市スポーツ推進計画（素案）策定に係る新旧対照表」という資料をご覧ください。こちらは、左側に現行計画の各項を、右側には次期計画案の各項を並べている表になります。

先ほどお話ししたスリム化についてですが、具体的に説明いたしますと、現行計画の第1節の1、「健康・体力づくりを意識したスポーツ活動の推進」、2の「高齢者のスポーツ活動の推進」、4の「子どものスポーツ活動の推進」の3項目について、重複する内容を省くことで、次期計画では第1節の1、「ライフステージに応じたスポーツ活動の推進」として一本化しております。同じく、現行の第1節の5、「地域スポーツ活動の推進」と、7の「国内外スポーツ交流の推進」を、次期計画では、第1節の3、「スポーツ大会等の開催」として一本化しております。このように、内容が近い項目を一本化することで、現行の第1節では8項目あったものを4項目に、同じく第2節は5項目に、第3節は2項目としております。

また、新旧対照表の上の部分に記載しておりますが、現行の計画が平成25年3月から令和3年3月までの8年間の計画であるのに対し、次期計画は令和3年4月から令和7年3月までの4年間としております。これは、現在策定している第5次八千代市総合計画の前期部分の期間である4年間に合わせておまして、スポーツ推進計画につきましても、4年後に次の次の計画を策定する予定となっております。

これにより、計画の見直しや調整する機会が増え、より現実に即した内容の計画の策定が出来るものと考えております。

次に、計画の記載方法ですが、現行の計画は、各項目の説明の中で、「現状と課題」として状況説明等を記載したうえで、「今後の取り組み」として具体的な計画の内容を記載しております。対しまして、次期計画案としましては、「現状と課題」「今後の取り組み」に加え、「主な施策事業」を追加しております。これによりまして、「現状と課題」で現状の説明、「今後の取り組み」で今後の計画や方向性を、「主な施策事業」で具体的な事業内容を記載し、より分かりやすい記載方法に変更しております。

最後に、次期推進計画策定の今後のスケジュールについて簡単に説明いたします。

お手元の「八千代市スポーツ推進計画策定スケジュール」という資料をご覧ください。

ここに、令和2年2月の市民アンケートの実施から、令和3年3月に策定が終わるまでの簡単なスケジュールを記載しております。

このうち、上から3段目の令和2年6月の欄に、本日の推進審議会についての記載があります。

今後は、8月の第1回次期八千代市スポーツ推進計画調整会議、これは市役所内の関係各課と計画について協議するものですが、こちらを8月9日と2回開催する予定です。

続いて10月にパブリックコメント、これは推進計画案をホームページ等で公開し、広く市民から意見を募集する手続きになりますが、このパブリックコメントを経て、12月に再度、皆様にお集まりいただき、このスポーツ推進審議会で最終的に皆様に検討していただくこととなります。

その後、令和3年4月より、新しい計画がスタートすることになっています。

スケジュールの日程は、今後状況によって変更することがありますが、大きな流れとしてはこのような方向で進んでいくこととなりますので、よろしく願いいたします。

以上をもちまして、次期スポーツ推進計画策定についての説明を終わります。

議 長

詳細については皆さん事前に送付された資料の中でご覧になっているかと思えます。

これはあくまでも骨子ということで、ただいま説明がありましたように、この後いろいろな段階を経て、本年12月にこの場で再度審議されるということのようですので、今後、先ほどの意見等も踏まえ、さらに具現化していく計画ができるかと思えます。

八千代市体育協会の名称が、スポーツ協会に変更になるかと思えますが、

事務局

体育協会の名称は、令和3年の4月から変更になると聞いております。

現状は体育協会ということで、大丈夫かと思えます。

岡本委員

他市のスポーツに関するホームページを見ますと、市が比較的メジャーとなるようなスポーツに関して取り上げているケースが非常に多い。それに対して市が一致して、連携してやっていきたいと思いますという形になっていると思えます。

そういった意味では、この今後の取り組みの中で「見るスポーツを推進します」「トップレベルの競技会や観戦する機会の提供に努めます」という表現もあります。

その意味でいくと、八千代市は女子水球というものがあまして、それは全国で一番のレベルであり、女子水球のプールというのは日本では八千代市にしかありません。

専用プールがあつて、このスポーツを見るという機会は、海外の方々も頻繁にいらっしやっているので間近に見ることも、ちゃんとルール化すればできますので。

そういったことから、せっかく強く出せるものがあるのであれば、八千代市が誇れるスポーツということで強く推進していてもいいのではないかなと思えます。

そうすると、小学校中学校と連携することで、子ども達が元気になり、やっていけないのではないかなと思うので、その辺に関しての深掘りをお願いしたいと思います。

二つ目に「生涯スポーツ」、この中で「市民団体へのボッチャ等の貸し出し」と書いて

あります。

私は、ボッチャの指導的なこともやっけていて、貸し出しを承った時に、講師指導としても行っております。ボッチャの簡易版です。

部屋内でできる簡易版を展開すると運動不足の解消になると思うので、そういったものを連携しながら、貸し出しを含めて行うことによって、スポーツのハードルを下げることもできると思います。

ボッチャというのは、ルールが決められているものと、それを柔軟に対応する方法があるんですが、この部屋の半分ぐらいのスペースできる簡易版があるので、それをホームページ上で、「簡単なボッチャ」「いつでもできるボッチャ」として、ルールも含めて紹介することで、誰でもできる、誰でも判断できるスポーツになっていきます。

足の不自由な方や手が不自由な方でもできるスポーツでありますので、そういった形を一步進んでやることによって、スポーツ人口の拡大が出来ると思います。

事務局

メジャーなスポーツということで水球をというお話がありました。

先ほどお話がありましたとおり、見るスポーツとして、競技力の向上というところも含めてあるんですけども、今後秀明大学さんとの連携ということもありますので、別の項目の、関係団体との連携にも含まれますし、多岐に渡ることだと思います。

計画案には水球という言葉は入れていないんですが、入れていないことはやらないというわけではなく、あくまでも大きく広くという書き方をしております。水球については、今後秀明大学さんと連携して進めていくことになると思います。

それから、ボッチャの関係ですけども、今回文化・スポーツ課でも、ボッチャの器具を購入し、現在、貸し出しや指導についての準備を進めておりますので、それは近々実現していきたいと考えております。

議長

現状のスポーツ施設が、改修をしないと見るスポーツも招聘できないという問題があります。市民体育館、或いは野球場等ですね。

プロのスポーツを招聘して見るスポーツを実践してきた過去の例もございます。それが今できない状況です。そんな状況がここにもありますし、施設の老朽化、或いは施設の改修も大きな課題であり、これがスポーツ振興に大きく関わってくると思いますので、その辺りもまた、次期計画案に書かれているスポーツ施設の管理運営の中で、更に掘り下げていかなければならないことだろうと思います。

私からですが、総合型地域スポーツクラブの現状はどうなっているんですか。

事務局

現状といたしまして、八千代市にはゆりのき台と勝田台を拠点にした二つのチームがあります。どちらのチームも会員の拡大には苦慮しているところがありますので、その辺については今後、文化・スポーツ課としましても、周知や協力を含めて支援をしていきたいと考えております。

議長

総合型地域スポーツクラブというのは地域に根差したスポーツ活動ですので、身近な

スポーツ環境の整備ということでは、非常に大きな役割を担うと思います。

ただ、活動場所が学校施設しかないということなんですが、学校施設は現在、市民の方の学校開放で満杯の状況です。

その中で、総合型地域スポーツクラブが使用するスペースを確保するのが困難であるということですね。

今活動しているスポーツ団体に、総合型地域スポーツクラブの活動のために開けてもらうということが、どの程度進められるかということが、大きな課題になろうかと思えます。

総合型地域スポーツクラブというのは、各地域や各中学校区ごとに一つ組織ができれば、身近にスポーツができる環境が整うし、市民のニーズに応えることができる。

それほど大きな役割を担うのではないかと思いますけれども、現状は非常に厳しい状況であるという事だと思います。

ただ、市としては、これを推進していきたいという意思、表れたいと思います。

それでは、議題3の「その他」といたしまして、事務局から施設の改修計画等について報告をしていただきます。

事務局

前回の審議会にてご説明させていただきました「八千代総合運動公園市民体育館及び野球場老朽化対策の検討状況」の進捗についてご報告させていただきます。

前回の審議会では、「八千代市公共施設再配置等推進委員会」が開催され、この委員会において、市民体育館と野球場、テニスコートの老朽化対策について、全庁的に調査、検討していくための検討部会を新たに設置することとなった旨を報告させていただきました。

その検討部会を昨年12月に開催し、文化・スポーツ課としまして、それまでの検討事項を3案にまとめて提案いたしました。

お手元のクリップ止めの資料のうち「八千代総合運動公園内スポーツ施設整備計画(案)(概要版)」と書かれた資料をご覧ください。

1の文化・スポーツ課が提案した3案につきましては、(1)から(4)の前提条件を基に試算しておりますので、詳細につきましては、資料をご確認いただければと思います。

その3案につきまして、検討部会にて提案したところ、整備費用が大きく、財源の制約もあることから、3施設を一体で検討するのではなく、それぞれ個別に検討していく事となりました。

今後は、「市民体育館」「野球場」「テニスコート」などの総合運動公園内の施設全体について、民間活力導入の可能性と最適な整備手法を検討し、市民体育館や野球場をいつ建て替えるのか、建て替えないのか、その規模はどうするのか、場所はどこにするのかといった「恒久対策」と、市民体育館の雨漏り等、早急に対策を図るべき「緊急対策」に分けて検討していくこととなり、その緊急対策について資産管理課より提案がありました。

2の資産管理課による緊急対策案をご覧ください。

こちらは、天井落下防止対策や雨漏りといった喫緊の課題に対応するため、老朽化に

対する最低限の修繕、改修費を含めて、合計約3億3千万円となっており、今後の緊急対策については、こちらの案を基に検討を進めて参ります。

現在の進捗状況としては以上となります。

また、先程、議題1で説明しました市民アンケートにおいても、市民体育館と野球場の今後についてアンケートを実施しています。

議題1の資料「次期八千代市スポーツ推進計画策定に係るアンケート結果」の13頁をご覧ください。

問18の市民体育館の今後については、改修しながら利用していくが1番多く、43.7%、新しく建て替えるが次いで多く37%、現状のまま利用していくが3.1%、廃止するが2.2%、特になし、無回答が合計約14%でした。

次に、問19の八千代総合運動公園野球場の今後については、改修しながら利用していくが半数以上の52.6%、新しく建て替えるが22.5%、現状のまま利用していくが6.6%、廃止するが3.2%、特になし、無回答が合計15%でした。

以上のアンケート結果も踏まえ、引き続き検討部会において検討して参ります。

報告は以上です。

議 長

アンケートを見ると、改修しながら利用していくというのが一番多いようですけれども、この裏には、ストップして使えない時期があっては困るという、市民の要望があるのではないかなと思うんですね。あくまでも憶測ですけども。

従って、これをそのまま、改修が市民のニーズだからということで進めるのはどうかかなとも思います。

新しく建て替える、しかも、現在使っている施設を利用しながら建て替えるというのは一番の理想だと思うんですが、それに伴う財政的な裏付けも必要になってきますし、市の財政規模を考えますと、一概に新設や改修に進むということも、なかなか難しいのかなと思います。

ただ、体育館の雨漏りなどの緊急対策は是非やっていただきたいと思います。

萩島委員

この案にあります案2もしくは案3に、改修3.3億円とありますが、大体3.3億円で何ができるのか、皆さん具体的にビジョンが描けないと思いますが、私は独自で色々調べまして、専門の業者にも依頼して、3億円でどこまで改修できるか調べました。

まず、どこを直してどこを綺麗にすればプロスポーツや大学野球が呼べるレベルに持っていけるかという、外野の芝がかなり老朽化に伴って厳しい状況にある。例えばこれを外野の部分だけ人工芝化してはどうかということと考えたんですけども、この予算が大体2億円かかります。

でも、2億円というのは掛け値なしの金額なので、入札をすればもう少し下がってくる可能性もあります。

全面的に外野の天然芝の部分人工芝化すると約2億円、残りの1億円かけて周りの整備を行うとすると、ある業者に聞きますと1億円かけたら相当綺麗になりますということでした。

ですから、ここに新設で1.8億円とありますが、工期を約2年半とすると、2年半硬式

野球ができないという状況が八千代市の中で生まれてしまって、もちろん高校野球もできない、中学野球も少年野球もあの球場でできないということを考えると、非常にリスクーだなど考えたときに、そうではなく、現在1月から3月まで芝の養生期間ということで球場が使えないことになってはいますが、この3ヶ月プラスアルファで、人工芝を張ること、周りの施設を改修していくことというのは十分足りうるのかなというのは、私の独自の試算で出てきております。

その1億円を使って、野球場をただ野球場として使うのではなく、例えばランニングコースを新川沿いでしっかりと整備して、野球場にあるシャワールームやロッカールーム等をコインシャワー、コインロッカーを使えるような整備を整えることで、野球場をランニングステーションのような働きができるように整備をしていけば、更に、総合グラウンドや多目的広場にあるような水銀灯の大きな照明ではなく、LEDの照明を並べることで、かなり集中的に明るさが保つことができますので、そういった照明を球場に1億円の中から算出をして配置していくことによって、地域の防犯を図ることで、女性が安全安心にランニングができるとか、そういった環境整備にも繋がって参りますし、野球場をランニングステーション化することによって、球場もただ球場としてあるのではなく、複合的な形で使ってもらえるということで、その3.3億円がプラスアルファという形で考えられるのか、そんな使い方ができるのかなと思っています。

市民の方が、野球場を改修しながら使っていくというご意見をこのような形で多数寄せていただいている点については、この3.3億円でも、かなりいいものが市民の皆さんに提案していけるのではないかと考えております。

議 長

野球場単独で、今のような改修でも十分プロスポーツや高校野球を行えるくらいのレベルの、いわゆる見るスポーツが招聘できるような、そんな改修ができるのではないかとのご意見でした。

ただ市民体育館やテニスコートがどうなのかということも含めると、非常に厳しいものがあるかと思えます。市としての今後の進捗状況を見極めながらお願いしていくことしかできないのかなと思えます。

これに関して、市の計画としては今後どのようになっていくんですか。

事務局

今後は、緊急対策について早急に方針を決定していくこととなります。

その議論と合わせまして、恒久対策の議論も並行して進めていく予定となっております。

議 長

期限は決まっていますか。

事務局

本年度中に方針決定の予定ですが、恒久対策も含めた方針が決まるかどうかということまでは、現在のところ決まっておりません。

議 長

次期推進計画に載せられるかどうか微妙なところですね。

事務局

推進計画の中では具体的な形で載せるのではなく、あくまでも施設整備を進めるという形で載せる予定です。

議長

わかりました。

本日の皆様のご意見も参考にして、12月の第2回スポーツ推進審議会までに、色々な過程を踏まえたうえで、再提案していただく形になろうかと思えます。

その他ご意見はありますか。

無いようですので、事務局に進行をお返しいたします。

(5) 閉会